

## 第三十六回卒業式 式辞

卒業生の皆さん、保護者の皆さん、卒業おめでとうございます。

本日、第三十六回卒業証書授与式を挙げていただきましたところ、ご来賓の皆様におかれましては、公私ともにご多用の中、多数ご臨席たまわりました。高い所からではございますが、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

保護者の方々には、日々のご努力で卒業をお迎えになり、感慨もひとしおと推察いたします。これまでのご努力に敬意を表すると共に、学校へのご支援を深く感謝いたします、ありがとうございました。

さて、卒業生の皆さん、改めて、卒業おめでとうございます。ご来賓の方々、保護者の皆様、教職員一同と共に皆さんの門出をお祝いすることは、私にとって何よりの喜びです。

三年前を思い出してください。私は入学式で二つお願いをしました。一つめは「チャレンジ精神を持って前進して欲しいこと」。二つめは「権利と義務と責任を自覚した高校生活を送って欲しいこと」でした。

この3年間どうでしたか？

私は皆さんの授業にも入り、真摯に努力するたくさんのがんばっている姿を再確認できました。そしてきっと大切な思い出づくりをしてくれたと確信しています。

たくさん思い出を残し、この長野北高校を去る日がきました。卒業される皆さんの今日までの努力を称え、心からお祝い申し上げます。皆さんは、今まで支えてくださったご家族や多くの方々の熱い思いがあることを忘れてはなりません。

深い「思い出」がいっぱいつまったこの長野北高校を巣立ち、新たな発展を期して次のステージに飛び出す時がきました。その進路はさまざまですが、いずれの方向に進まれても、二十一世紀の新しい時代を創り出す人間として、自覚をもって活躍してください。

今、日本は大きな岐路に立っています。昨年3月の東日本大震災からの復興も懸命の努力にもかかわらず完全とは言えません。また我々の生活環境も厳しさを増しています。

大阪では教育が大きく変わろうとしています。しかし、いくら制度が変わろうと自分の培った力を発揮して自分の力で歩むことの重要性は何も変わりません。お配りした卒業式次第をご覧ください。中の面の校歌の下に三年間皆勤生徒の

名前を記入させていただきました。継続する歩みの大切さを身をもって実践した皆勤生徒を校長としてたいへん誇りに思います。

私には三十八年間の教員生活で培った「ゆるぎない信念」があります。それは「一人ひとりが力を持つ大切なかけがいのない存在である」ということです。

私たちは人生の岐路に立ったとき、自分の進む道を自己選択、自己決定します。迷いながらも、自分の人生の主体者として自分らしく生きていきます。その基礎を、長野北高校で学んできました。学ぶためには努力が必要です。

努力するためには「意欲」や「やる気」と表現される心の体力が大切です。「心の体力」をはかる時、私は温かいとか冷たいと表現します。心の体力が温かい時は、めざす目標が苦難の道でも「やってみよう」と挑戦しやすくなります。また壁にぶつかっても素直に「助けてください」と言いやすくなります。しかし、冷えているときは、「どうせ無理」とか「自分には合わない」と決め込んであきらめたり、責任を他に押しつけ自分を納得させてしまいます。

心の体力を温めあうには、しっかり話を聴き合い、学び合って、互いを高め合うことが大切です。長野北高校では、良好なコミュニケーションを通して心の体力を温め、高め合う関係づくりに努めてきました。

学力向上についても理科の実験等の体験活動を通して深い学びを得る取組を進めてきました。アメリカの研究所が、異なる勉強方法で1週間後の学習定着率を測定した結果を、ラーニング・ピラミッドと呼ばれる図で発表しています。見るだけや聞くだけよりも体験や教え合うことで学習定着率が向上するという内容です。

学校は、工夫をこらし、皆さんが努力しやすい環境をつくり、気づきを重ねる取組を続け、進路希望が実現するよう努めてきました。最近では数学の授業等で小さなホワイトボードを使用して教え合うことにも取り組んでいます。

それらの取組で得た向上のプロセスをポスター等で可視化し地域に発信することによって「地域に根ざした身近な府立高校」としての本校の特色をお知らせしています。

ここで社会人として活躍されている先輩からのメッセージを読みます。

みんなには夢がありますか？

恥ずかしがらず胸を張って夢を語ってみてください。

そしたら周りの人たちも一生懸命応援してくれるはずです。

「自分には無理」ってあきらめてませんか？

別にめざしてる途中で夢が変わっても私は良いと思います。また新しい夢を全力で追いかけることが大切だと思うから…。

不安になるときもあると思います。そんな時は、周りの人に相談してみてください。一人で悩むより楽になると思います。

最後に私の夢を聞いてください。私の夢は笑顔のお手伝いをすることです。一人でも多くの人に笑顔になってもらうことです。

三十六期生の皆さんご卒業おめでとうございます。

以上が先輩からのメッセージでした。

卒業にあたり、私からお願いがあります。自分自身の可能性を信じ、夢を持ち実現するために全力を尽くしてください。どんな困難やライバルがあろうとも、おそれず粘り強く立ち向かっていくことです。チャレンジ精神を持って前進すれば、必ず道は開けます。

この長野北で学んだ「心を温めて聴き合い、学び合い、高め合うこと」を大切にして、豊かな心をもってこれからの人生を幸せに生きてください。皆さんが素晴らしい人生を歩まれることを心よりお祈りすると共に、みなさんの大いなる活躍を期待しています。

以上で校長の式辞を終わります。

平成二十四年二月二十四日

大阪府立長野北高等学校 校長 木村重房